

科目名	REC実習Ⅳ		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	36 回	1回あたりの授業時間	270(135) 分
修 得 目 標	スタジオ録音・MIXの基礎～応用作業を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月11日	バンド録音1			
2	10月12日	ミックス1			
3	10月16日	バンド録音2			
4	10月18日	ミックス2			
5	10月19日	バンド録音3			
6	10月23日	ミックス3			
7	10月25日	バンド録音4			
8	10月26日	ミックス4			
9	10月30日	バンド録音5			
10	11月1日	ミックス5			
11	11月2日	バンド録音6			
12	11月6日	ミックス6			
13	11月8日	バンド録音7			
14	11月9日	ミックス7			
15	11月13日	バンド録音8			
16	11月27日	ミックス8			
17	11月29日	バンド録音9			
18	11月30日	ミックス9			
19	12月4日	バンド録音10			
20	12月6日	ミックス10			
21	12月7日	バンド録音11			
22	12月11日	ミックス11			
23	12月13日	バンド録音12			
24	12月14日	ミックス12			
25	1月18日	バンド録音13			
26	1月22日	ミックス13			
27	1月24日	バンド録音14			
28	1月25日	ミックス14			
29	1月29日	バンド録音15			
30	1月31日	ミックス15			
31	2月1日	バンド録音16			
32	2月5日	ミックス16			
33	2月7日	バンド録音17			
34	2月8日	ミックス17			
35	2月14日	マスタリング1			
36	2月15日	マスタリング2			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	141時間中 48時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ラジオ実習Ⅳ		担当講師	八幡淳	
講師実務経験	FM NORTH WAVE、AIR-G'、HBCラジオ、STVラジオでパーソナリティ、コミュニティFM(エフエムアップル、FMおたる)での番組制作				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	番組制作の基礎～番組制作の応用力を習得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	パブリシティ番組の制作			
	10月11日				
2	10月17日	番組検聴			
	10月18日				
3	10月24日	CMづくり/制作したCMを使った番組制作			
	10月25日				
4	10月31日	番組検聴			
	11月1日				
5	11月7日	スター発掘番組			
	11月8日				
6	11月28日	番組検聴/夢の叶え方			
	11月29日				
7	12月5日	インタビュー番組			
	12月6日				
8	12月12日	番組検聴/聞く力を養う			
	12月13日				
9	1月23日	偶然エピソード番組			
	1月24日				
10	1月30日	番組検聴/故旧は太故無ければすなわち棄てず・中国故事から学ぶ縁の大切さ			
	1月31日				
11	2月6日	マクドナルドとケンタッキーのいいところをディベートする番組			
	2月7日				
12	2月13日	まとめ・テスト対策・質疑応答			
	2月14日				
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	MA実習Ⅳ		担当講師	田莉子和之	
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	MA作業の理解と、付随する特殊用語の習熟、及び、音声・映像に関する知識と音声編集を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス／MAの概要・知識について MA作業準備 / 整音について(1)			
	10月11日				
2	10月17日	整音について(2) 整音について(3)			
	10月18日				
3	10月24日	ナレーション・アフレコの収録について(1) ナレーション・アフレコの収録について(2)			
	10月25日				
4	10月31日	ナレーション・アフレコの収録について(3) ナレーション・アフレコの収録について(4)			
	11月1日				
5	11月7日	ナレーション・アフレコの収録について(5) 整音について(4)			
	11月8日				
6	11月28日	整音について(5) 整音について(6)			
	11月29日				
7	12月5日	音楽や効果音の仕込みについて(1) 音楽や効果音の仕込みについて(2)			
	12月6日				
8	12月12日	音楽や効果音の仕込みについて(3) 音楽や効果音の仕込みについて(4)			
	12月13日				
9	1月23日	音楽や効果音の仕込みについて(5) 整音について(7)			
	1月24日				
10	1月30日	整音について(8) 整音について(9)			
	1月31日				
11	2月6日	ミックス・ラウドネスについて(1) ミックス・ラウドネスについて(2)			
	2月7日				
12	2月13日	実技習得度判定 定期試験対策／授業まとめ			
	2月14日				
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTM実習Ⅳ		担当講師	作山 厚	
講師実務経験	DTM・ベース講師経験 / 楽曲配信・BGMサイト楽曲提供				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	Cubaseを使用した楽曲制作を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	DTM制作実習⑩ DTM業界の動向について⑩			
2	10月19日	DTM制作実習⑪ DTM業界の動向について⑪			
3	10月26日	DTM制作実習⑫ DTM業界の動向について⑫			
4	11月2日	DTM制作実習⑬ DTM業界の動向について⑬			
5	11月9日	DTM制作実習⑭ DTM業界の動向について⑭			
6	11月30日	DTM制作実習⑮ DTM業界の動向について⑮			
7	12月7日	DTM制作実習⑯ DTM業界の動向について⑯			
8	12月14日	DTM制作実習⑰ DTM業界の動向について⑰			
9	1月18日	DTM制作実習⑱ DTM業界の動向について⑱			
10	1月25日	DTM制作実習⑲ DTM業界の動向について⑲			
11	2月1日	DTM制作実習⑳ DTM業界の動向について㉑			
12	2月8日	DTM制作実習㉒ DTM業界の動向について㉒			
13	2月15日	DTM制作実習㉓ DTM業界の動向について㉓			
評価方法	平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者	授業形態	講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	直近のニュースについて⑧			
2	10月20日	直近のニュースについて⑨			
3	10月27日	直近のニュースについて⑩			
4	11月10日	直近のニュースについて⑪			
5	12月1日	直近のニュースについて⑫			
6	12月8日	直近のニュースについて⑬			
7	12月15日	直近のニュースについて⑭			
8	1月19日	直近のニュースについて⑮			
9	1月26日	直近のニュースについて⑯			
10	2月2日	直近のニュースについて⑰			
11	2月9日	直近のニュースについて⑱			
12	2月16日	講義振り返り、試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	就職対象専攻		講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	社会人としての心構え、必要な知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	新社会人の心得			
2	10月20日	新入社員 仕事の進め方について			
3	10月27日	各種保険、年金、税金の概要			
4	11月10日	名刺交換について			
5	12月1日	仕事の目標設定について			
6	12月8日	業界の仕事の繋がりについて			
7	12月15日	来客対応の基本とコツ			
8	1月19日	上座と下座について			
9	1月26日	職場における電話対応			
10	2月2日	服装のマナー			
11	2月9日	先輩や上司との付き合い方			
12	2月16日	総まとめ			
評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価				
評価	評価 修得済				
テキスト	無し				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	聴能形成		担当講師	森本信	
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクター プロダクション&アーティストマネージメントほか				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	聴能形成のあり方、訓練方法を検証し学習法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	聴能形成とは(基本概念の説明と手法について)			
2	10月20日	聴能形成とは(訓練内容の検証、訓練内容の提案)			
3	10月27日	開発プロジェクトの立ち上げ、担当グループ分けと進行内容の検証			
4	11月10日	各グループによるデータ集積と検証			
5	12月1日	全体打合せ、各グループの発表、協議			
6	12月8日	各グループによるデータ集積と検証			
7	12月15日	全体打合せ、各グループの発表、協議、			
8	1月19日	データの検証と実験			
9	1月26日	データの検証と実験			
10	2月2日	データ検証による修正と次回テーマの提案			
11	2月9日	データの検証と実験			
12	2月16日	聴能形成のまとめ、次年度への受け渡しデータ整理			
		注)学習を受けるだけではなく、トレーニングを伴ったり、その手法を提案し開発する目的が基本となる。よってスケジュールや授業内容は大きな変化が伴う。			
評価方法	平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 PA実習		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	PAの機材、仕事内容を理解し簡易PAシステムの設置&モニターオペレータを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明			
2	10月17日	PAコンソール(卓)、モニター仕込み図説明			
3	10月24日	仕込み図を見ての仕込み作業			
4	10月31日	仕込み作業試験			
5	11月7日	モニタースピーカー、AUX等の説明			
6	11月28日	エフェクター、AUX等の説明			
7	12月5日	仕込み図をプラスして仕込みの練習(SPX990)			
8	12月12日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
9	1月23日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
10	1月30日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
11	2月6日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
12	2月13日	後期試験対策他			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	2年 REC選択実習		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	REC選択者		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	スタジオの録音機材・基本システムについての知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	スタジオシステムの概要			
2	10月17日	調整卓の基本1			
3	10月24日	調整卓の基本2			
4	10月31日	マイクロフォン基礎1			
5	11月7日	マイクロフォン基礎2			
6	11月28日	エフェクタ基礎1			
7	12月5日	エフェクタ基礎2			
8	12月12日	ProToolsオペレーション基礎1			
9	1月23日	ProToolsオペレーション基礎2			
10	1月30日	マイクセッティング基礎			
11	2月6日	録音実践1			
12	2月13日	録音実践2			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	カラーコーディネート	担当講師	木村 真祐美
講師実務経験	カラーコーディネーター、カラーセラピスト		
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ系コース
期 間	後期	総授業回数	12 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	色の持つ効果を知り、色に関する感性を磨き、仕事に役立つ実践的な色彩知識を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	10月10日	授業ガイダンス	
2	10月17日	色彩基礎知識について	
3	10月24日	色の働きと色の見える仕組みについて	
4	10月31日	色の感情作用、知覚的効果について	
5	11月7日	パーソナルカラー(似合う色)について①	
6	11月28日	パーソナルカラー(似合う色)について②	
7	12月5日	色とイメージの関係について①	
8	12月12日	色とイメージの関係について②	
9	1月23日	カラーセラピー(色彩心理)について	
10	1月30日	色彩調和・配色技法について	
11	2月6日	ビジュアルデザインと色彩の関係について	
12	2月13日	定期試験対策	
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 照明実習		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	舞台照明の基本について修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	照明機材やケーブルについて			
2	10月17日	機材の仕込み方について(点灯するまでの仕組み)			
3	10月24日	配線ケーブルや変換ケーブルを使用する仕込みについて			
4	10月31日	カラーフィルターやフォーカスについて			
5	11月7日	フロア仕込みについて			
6	11月28日	フォーカスの名称について			
7	12月5日	操作卓について			
8	12月12日	ケージの強弱や明りの組み合わせについて			
9	1月23日	復習仕込み			
10	1月30日	応用仕込み			
11	2月6日	実技テスト対策			
12	2月13日	実技テスト、筆記試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	動画制作		担当講師	高橋 学	
講師実務経験	映画制作会社取締役				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	動画制作を通して、映像全般の知識と技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス。映像の知識①。			
2	10月17日	映像の知識②。プリプロダクション①。			
3	10月24日	映像の知識③。プリプロダクション②。			
4	10月31日	機材選び。テスト撮影。リハーサル。			
5	11月7日	撮影実習①。			
6	11月28日	撮影実習②。			
7	12月5日	撮影実習③。			
8	12月12日	編集①。基本的な編集の知識。			
9	1月23日	編集②。荒編までの知識。			
10	1月30日	編集③。BGM、効果音の入れ方。			
11	2月6日	編集④。仕上げ。			
12	2月13日	試写、まとめ。			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				